

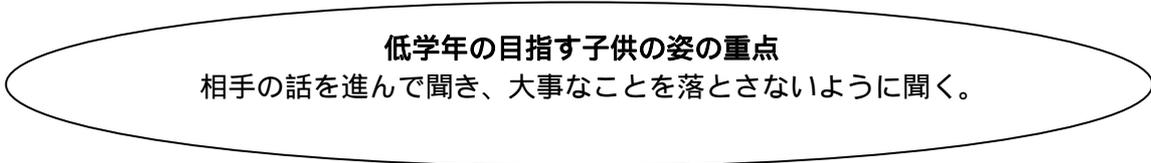
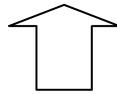
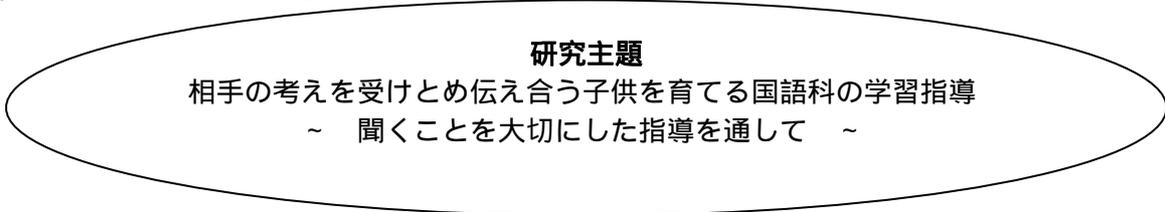
第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成16年11月2日(火)5校時
 児 童 男8名 女4名 計12名
 指導者 谷 藤 久 美 子

- 1 単元名 本と ともだちに なるう
 教材名 ずうっと、ずっと、大すきだよ

2 単元について

(1) 子供の実態と研究主題との関連



本 単 元 を 通 して 活 用 し た い 力		
話 す	聞 く	話 し 合 う
大事なことを選んで話す。 具体物を持ったり指し示したりしながら話す。	分からない事を尋ねる。 友達の話を興味を持って聞く。	1対1や少人数で話し合う。 知りたい事や分かっていたい事を尋ねたり応答したりする。



(2) 単元について

子 供 の 実 態		
話すこと	聞くこと	話し合い
身近な人に進んで話す。 大事なことを選んで話す。 みんなの前ではっきり話す。 主述に気をつけて話す。 順序に気をつけて話す。 具体物を持ったり指し示したりしながら話す。 言葉や表現を考えて2~3文で話す。	友達の話を興味を持って聞く。 分からない事を尋ねる。 順序に気を付けて聞く。 文末表現に気を付けて聞く。 具体的な観点を持って聞く。	1対1や少人数で話し合う。 知りたい事や分かっていたい事を尋ねたり応答したりする。 話題に沿って話し合う。 話し手、聞き手になって言葉のやりとりをする。

児童について

子供たちは平仮名の読み書きの学習を終了し、漢字、片仮名の学習も進んで、文字を読むことの学習に慣れてきている。「おむすびころりん」「大きなかぶ」「くじらぐも」などの教材により、物語の筋をとらえたり登場人物の心情や場面の様子を想像したりする学習にも繰り返し取り組んできている。

また、日常の読み聞かせ活動で、お話の世界に浸ることの楽しさも経験している。

6月下旬に実施した国語の勉強に関するアンケートでは、ほとんどの子が「読書する(本を見たり、お話を読んでもらったりする)」「文章の内容を読み取る」学習が好きだと答えており、読書に関する自己意識は高い。

しかし、自分から進んで図書室に足を運び、本を借りて読む子は少なく、読書に親しんでいるとは言いがたく、読書の時間には絵を眺めているだけの子供も3~4名いる。

また、文字を読むことはできても、初めての文では拾い読みの子も多く、書かれている内容を自分の力で読み取ることには、難しさを感じている子も多い。

聞くことについて

入学以来、話し手の目を見て聞くことを指導してきた。相手を見て話を聞く態度は、徐々に身につけてきている。また、6月下旬に実施したアンケートでは、12人中11名が「先生やお友達のお話を聞く」ことが好きだと答えている。しかし、友達の話の途中で質問をしたり、自分の経験を話し出したりすることも多く、最後まで興味を持って聞くことはまだできていない。

子供たちは、「わたしは、なんでしょう」の学習を通して、友達の話を聞いて分らないことを尋ねたり応答したりする活動をしてきている。よく聞くことの必要性を感じ取り、分らないことを質問して確かめるといふ話の聞き方も徐々に身につけてきている。

「聞き上手な子」においては、「心」「技」「体」とも表を使っての指導をしてきた。友達の話をうなずきながら聞いたり、自分の考えと比べて聞いたりする子も出てきている。また、声の小さい子の話も耳を澄まして聞こうとし、心の面で成長してきている様子が伺えるようになってきた。

友達の話を興味を持って聞き、 分らない事を尋ねる。

教材について

本単元は、今までの学習で培った

読みの力を定着させるとともに、それを生かして子供が主体的に教材を読み進め、読書に親しみを深めることをねらいとしている。

教材文「ずうっと、ずっと、大好きだよ」は、主人公「ぼく」が愛犬「エルフ」をいかに愛していたかが回想の形で展開されている。生き物に対して、強い興味関心を持っている子供たちは、主人公「ぼく」の心情に寄り添いながら読むことができると思われる。

また、読書の楽しみをさらに広げるための方法として「好きな本を友達に紹介する」という場を設定している。さまざまな本を読み、紹介文を書き、それをもとに発表するとともに、知りたいことを尋ね合う総合的な言語活動が行われるような単元構成になっている。

このように、本教材及び本単元は、友達の話を興味を持って聞き、分らないことを尋ねることにより、場面や登場人物の行動や様子について想像を広げながら読んだり、読書意欲を高めたりすることに適した教材である。

指導にあたって

本単元の学習後、自分で本を読むことが

楽しい、本をたくさん読みたいという感想が持てるようにしたい。

そのために、教材文の学習では、挿絵を有効に活用したい。読む途中に、挿絵に描かれた人物の様子や表情から想像したこと伝え合ったり、子供たちの知識や経験を交流し合ったりして話の展開を楽しみ、叙述を確かめていきたい。子供が自分の力で読むようにし、難しいところは個別に指導したり、全員で取り組んだりし、主体的に作品を楽しむようにさせたい。また、知りたいことを尋ねたり応答したりし、読みを深めさせたい。

その上で、紹介の仕方を学習し、好きな本の紹介文を書き、「わたしのおすすめの1さつ」を紹介し合い、読書の意欲を高めたい。紹介をするときには、題名、登場人物、あらすじの3点をしっかりおさえたい。

本の紹介は、紹介文を貼った指人形のような紙袋を持って行き、紹介文を見ずに話すようにさせたい。また、ペアで紹介し合い、知りたいことを尋ねたり応答したりすることによって、友達の紹介する本への興味を高めたい。

3 単元の目標と評価規準

主目標 副目標

	目標	評価規準 (B)
関心 意欲 態度	想像を広げながら本を読み、本を読むことの楽しさに気づき、自分の好きな本を紹介しようとする。	読んだおはなしに感想を持ち、好きな本を友達に紹介しようとしている。
読む こと	易しい読み物に興味を持ち、主述に注意しながら、登場人物がしたことを読み取り、場面の様子や登場人物の行動などについて想像を広げながら読むことができる。 (ア、ウ)	易しい読み物を主述に注意して登場人物のしたことを読み取り、場面の様子や登場人物の行動などについて挿し絵や文章から想像したこと書いたり発表したりしている。
言語 事項	文の中における主語と述語の関係に注意して読むことができる。(エ(ア))	文の中における主語と述語の関係に注意して読み、主人公や登場人物のしたことを書いたり話したりしている。

4 学習指導計画 (8時間: 読8)

過程	時	学 習 活 動	指導上の留意点	具体的評価規準 (B) と 評価方法
つ か む	1	単元名をもとに、単元の目標をつかむ。 じぶんの好きな本を見つけ、ともだちにしょうかいしよう。 挿絵を見たり全文を読んだりして、話の大体をつかむ。	・「本とともにだちになろう」という単元名から、みんなで好きな本を見つけ紹介しあうことを確認する。 ・挿絵と本文を対応させながら読み聞かせる。	本の紹介に興味を持ち、挿絵や本文から物語の大体をつかみ、感想を書いたり話したりしている。(関・意・態) [感想の記述の分析と発言の様子の観察]
追 求 す る	2	ぼくとエルフはどんなことをしていたでしょう。 挿絵と文を対応させて、ぼくとエルフがしたことを書く。	・「だれが」「何をした」の文型を取り上げ、したことを読み取らせる。	主語と述語に気をつけ、ぼくとエルフがしたことを書いたり話したりしている。(読) [ワークシートの分析と発言の様子の観察]
	3	「ずうっと、ずっと、大好きだよ」をよんで好きなところをしょうかいしあおう。 全文を読み、好きなところ、良かったところを紹介し合う。	・音読、感想発表、登場人物への手紙など紹介の仕方を工夫させ、質問したり応答したりさせながら読みを深めさせる。	想像を広げながら読み、好きなところや良かったところを発表し、尋ねたり応答したりしている。(読) [ワークシートの分析と発言の様子の観察]
	4 ・ 5	好きな本をしょうかいするじゅんびをしよう。 好きな本を1冊選び、主述に注意して読む。	・今まで読んだ本の中からも良いことを知らせ、教材文の学習を生かして読ませる。	好きな本を見つけて読み、主人公の行動について書いたり話している。(読) [ワークシートの分析と発言や行動の様子の観察]

	6	<p>「わたしのおすすめの1さつ」をかこう。</p> <p>「わたしのおすすめの1冊」を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本を紹介するときには、題名・登場人物・あらすじを書くことを確認する。 	<p>読み取ったことをもとに、紹介する観点にそって紹介文を書いている。(読)</p> <p>[紹介文の分析]</p>
ま と め る	7 本 時	<p>「わたしのおすすめの1さつ」をしょうかいしよう。</p> <p>紙袋を使って本の紹介をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手には、紹介文に書いた3つの観点を落とさずに話すようにさせる。 ・友達に尋ねられたことを次の紹介に生かすようにさせる。 	<p>友達に尋ねられたことに答えながら、本の紹介をしている。(読)[本の紹介の様子を観察]</p>
	8	<p>かんそうカードをかき、よみたい本をよもう。</p> <p>感想カードを書き、読んでみたい本を読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が紹介した本はすぐに読めるように学級においておく。 	<p>読みたい本を見つけ、読んでいる。(関・意・態)</p> <p>[感想カードの分析や行動の様子を観察]</p>

5 本時の学習

(1) ねらい 「わたしのおすすめの1さつ」の本について、読み取ったことをもとに友達に尋ねられたことに答えながら本を紹介することができる。

(2) 授業仮説 「わたしのおすすめの1さつ」の本の紹介をペアで行い、もっと知りたいことやおすすめ理由など、尋ねられたことに応答することを繰り返すことによって、読み取ったことを工夫して表現し、より分かりやすく本を紹介することができるであろう。(仮説1)

(3) 展開

段階	時間	学習活動	指導上の留意点	具体的評価規準と評価方法
つかむ	8分	1 本時の学習課題を把握する。 「わたしのおすすめの1さつ」をしょうかいしよう。 2 紹介の仕方について確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの活動を振り返らせる。 題名、登場人物、あらすじの3つを落とさないように確認する。 ペアで紹介し合い、知りたいことを尋ねたり応答したりしながら、紹介していくことを知らせる。 実際に教師が本の紹介を行い、紹介の仕方を確認する。 	
追求める	30分	3 ペアで「わたしのおすすめの1さつ」を紹介しあう。 (1) 紹介する。 (2) 聞き手が、おすすめ理由やもっと知りたいことを尋ねる。 (3) 尋ねられたことに答える。 (4) 聞き手が感想を伝える。	<ul style="list-style-type: none"> 紹介文と紙人形を貼った紙袋を持って紹介し、なるべく紹介文を見ずに話させる。 紹介文を読むだけでなく、紙人形を動かしたり呼びかけたりして工夫しながら紹介するよう指導する。 途中で、紙人形を動かしたり、紹介文から目を離して相手を見て紹介したりしている児童をモデルとして取り上げる。 紹介し合った回数がかかるように黒板を利用する。 気に入った理由や本の内容について質問できるようにペアを回りながら支援する。 	<p>A 本の内容や想像したことについて尋ねたり応答したりしながら、工夫して本の紹介をしている。</p> <p>B 友達に、尋ねられたことに答えながら、本の紹介をしている。</p> <p>C 紹介文を読んで紹介させたり、一緒に尋ねることを考えたりする。</p> <p>[ペアでの本の紹介の様子を観察]</p>
まとめる	7分	4 学習の振り返りをし、読書への意欲をもつ。 (1) 紹介した回数や紹介の話し方を自己評価する。 (2) 読みたくなった本を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ふりかえりカードをもとに、紹介の仕方がどうなったか発表させる。 ふりかえりカードに、読みたくなった本を1冊書かせさせ、発表させる。 	

6 板書計画

4	
3	
2	
1	

本とともだちになろう

「わたしのおすすめの―まつ」をしょうかいしよう。

だいじなこと

本のなまえ

でてくる人やどうぶつ

どんなおはなしか

たずねること

- ・おすすめのリゆう
- ・どんなよつす（人、まわり）
- ・すぎなところ